

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
テルアビブ大学芸術学部建築学科

2012 年度国際建築・都市設計ワークショップ 「減災に向けた地区スケールの計画・デザイン」

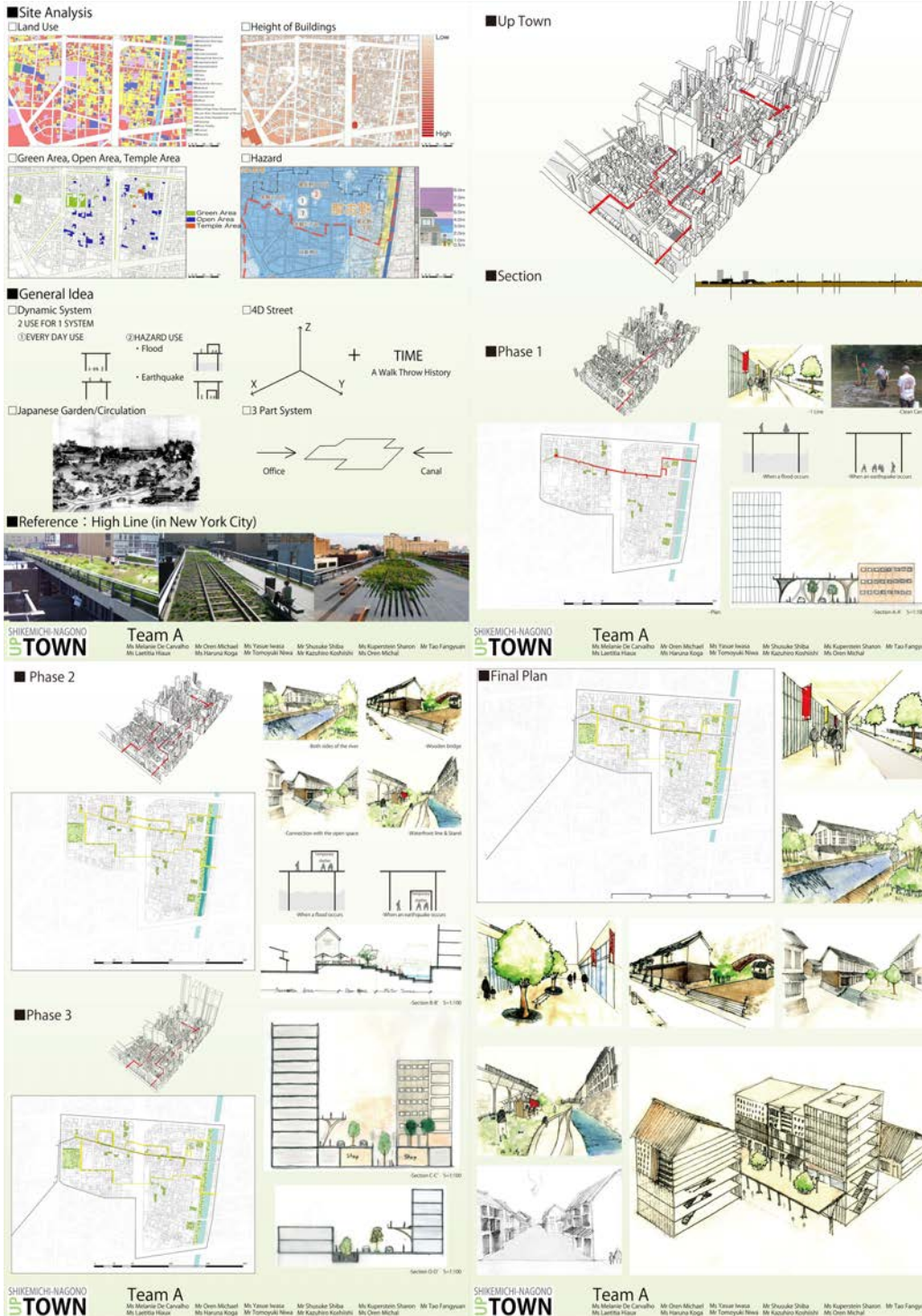


名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース（GSES-NU）では、2012年4月16日(月)から20(金)までの5日間、名古屋大学東山キャンパス環境総合館1階レクチャーホールを主会場として、パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校（ENSA-PVS、フランス）及びテルアビブ大学芸術学部建築学科（TAU、イスラエル）と合同で、「減災に向けた地区スケールの計画・デザイン」について調査・提案する建築・都市設計ワークショップを開催しました。ワークショップの指導は、Boris Weliachew 教授（パリ）、Peter Keinan 教授（テルアビブ）、小松尚准教授（名古屋）、村山顕人准教授（名古屋）。

45名の参加者は、4つの混成チームに分かれ、都市の「つながり」と減災を重視した地区スケールの計画・デザインを調査・提案しました。1日目は全員自己紹介、地域防災交流ホールの見学、現地見学とウェルカムパーティー、2日目は名古屋都市センターのまちづくり広場における学習と現地調査、3日目・4日目・5日目はグループ毎の作業、5日目夕方は成果発表会（一般公開）。最終発表会では、那古野・四間道地区、御劔地区、中川運河地区を対象とする各グループの調査・提案が図面と模型によって披露されました。また、名古屋市や名古屋都市センターをはじめとする行政関係者、対象地区の関係者、名古屋大学及び他大学の教員も来場し、活発な意見交換が行われました。

本パンフレットは、ワークショップの成果物をまとめたものです。

TEAM A UPTOWN 市街地火災・土地の液状化・水害の危険度が高い那古野地区 (1)



■概要

耐震改修促進法制定以前に建てられた建物が集まり、標高が低い那古野では、地震によって建物が崩壊し、津波によって地域が海水に覆われる被害が予想される。そこで、Phase 1、Phase 2、Phase 3の3段階を経て、「Highline」を街に通していく。「Highline」の下では、地震が起きたときには、地域の人々が身の安全を確保でき、一時的にシェルターに留まることができる。また、津波が起きたときには、人々は津波の予想レベルより上に設置されている「Highline」の上に避難することで安全なシェルターに一時的に留まることができる。さらに、「Highline」を通過して標高の高い安全な地域へと避難することができる。

■メンバー

ENSA-PVS

- Melanie De Carvalho
- Laetitia Hiaux

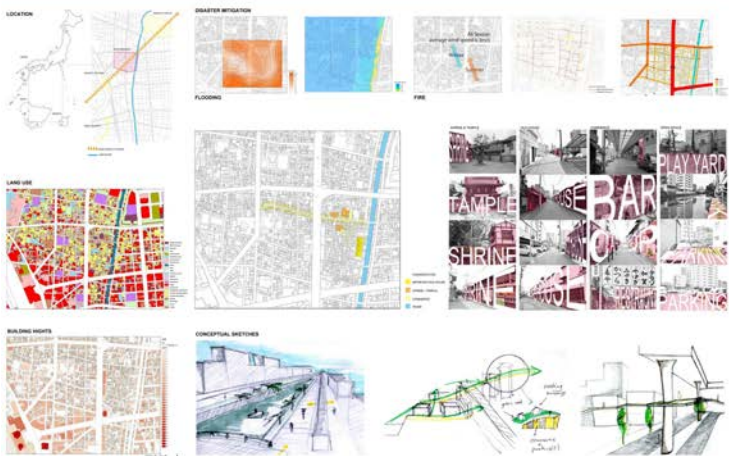
TAU

- Oren Michael
- Kuperstein Sharon
- Oren Michal

GSES-NU

- Tao Fangyuan
- Ikue Iwasa
- Haruna Koga
- Kazuhiro Koshiishi
- Tomoyuki Niwa
- Shusuke Shiba

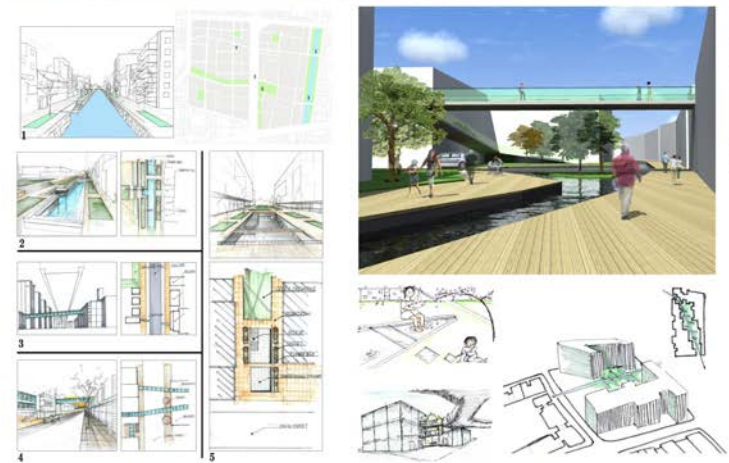
GO WITH THE FLOW SITE ANALYSIS Urban design workshop Nagoya 2012



GO WITH THE FLOW MASTERPLAN Urban design workshop Nagoya 2012



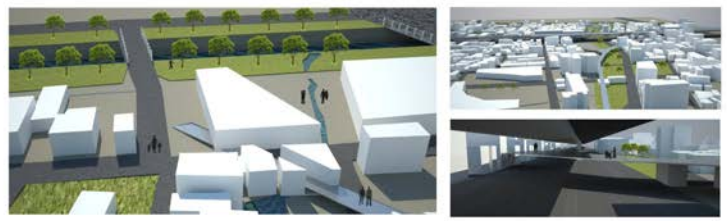
GO WITH THE FLOW GREEN SPACES SUGGESTIONS Urban design workshop Nagoya 2012



GO WITH THE FLOW SECTIONS Urban design workshop Nagoya 2012



URBAN VIEWS



■概要

敷地は、名古屋市西区那古野地区を選定した。この地区は、木造密集地であり、地震時の火災の際に甚大な被害が予想される地区であるとともに、低地であるため洪水のリスクも高い。私たちは、堀川から水路を地区に引いてくることで、初期消火用の水源を確保することを考えた。また、地区の中に5つのフォーカルポイントを設定し、それに公共施設を計画するとともに、四間道地区の景観に配慮しながら、それらを結ぶペDESTリアンデッキを地区に巡らせることで、洪水からの避難路を確保した。この水路とペDESTリアンデッキは、高架によって2つに分断された地区を結び、一体感を生み出している。

■メンバー

ENSA-PVS

- Raphaele Daragnes
- Celine Devincere

TAU

- Safra Noam
- Matar Ruth

GSES-NU

- Takahito Amano
- Masanori Kakehi
- Yumi Kondo
- Takuya Matsushita
- Pan Jing
- Lu Shang-shu
- Akane Shirai

Mitsurugi

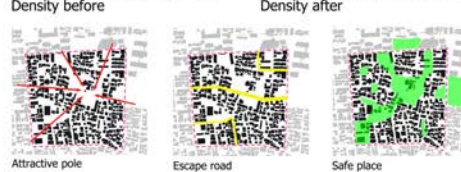
Urban Planning Workshop Nagoya
Site Analysis

Taking a problematic area in Nagoya city and trying to solve it by a new urban plan for the area



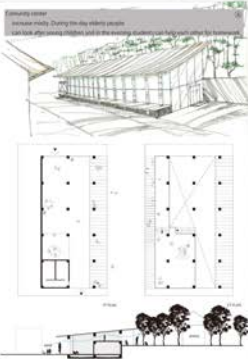
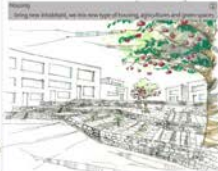
Mitsurugi

Urban Planning Workshop Nagoya

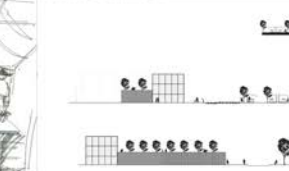


Group c: Lee Giladi, Shlomit Hayon, Caroline Duboquet, Choh Thiri, Yuki Sawazaki, Takahiro Kayano, Chiaki Nakatsuji, Shogo Makimura, Adrien Krop, Lee Ann, Yoshihiro Terashima

Group c: Lee Giladi, Shlomit Hayon, Caroline Duboquet, Choh Thiri, Yuki Sawazaki, Takahiro Kayano, Chiaki Nakatsuji, Shogo Makimura, Adrien Krop, Lee Ann, Yoshihiro Terashima



Mitsurugi
Master
Plan



Group C:
Lee Giladi
Shlomit Hayon
Caroline Duboquet
Choh Thiri
Yoshihiro Terashima
Takahiro Kayano
Shogo Makimura
Adrien Krop
Lee Ann
Yuki Sawazaki

■概要

対象地区である御劔は、狭い路地が多く残り、防災の面で不安のある住宅地である。そこで、駐車場や空地を地域のオープンスペースとして利用することを提案する。公園や農地ではリタイアした高齢者が子ども達とともに農業をするなど、コミュニティスペースとして使用され、災害時には一時的な避難所として機能する。また、近くにある大学の学生の活動拠点や地域の人々のレクリエーションの場となるコミュニティセンターや学生アパートなどにより学生や高齢者がともに活動できる場をつくる。それらがすでにある神社等とつながり、連続した緑地空間として地域に広がることにより魅力ある路地空間を破壊することなく、防災・高齢化への対策となる。

■メンバー

ENSA-PVS

- Caroline Duboquet
- Adrien Krop

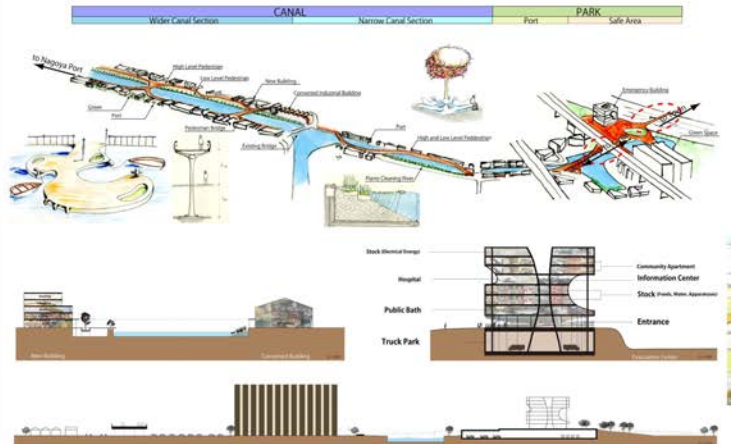
TAU

- Giladi Lee
- Hayoun Shlomit

GSES-NU

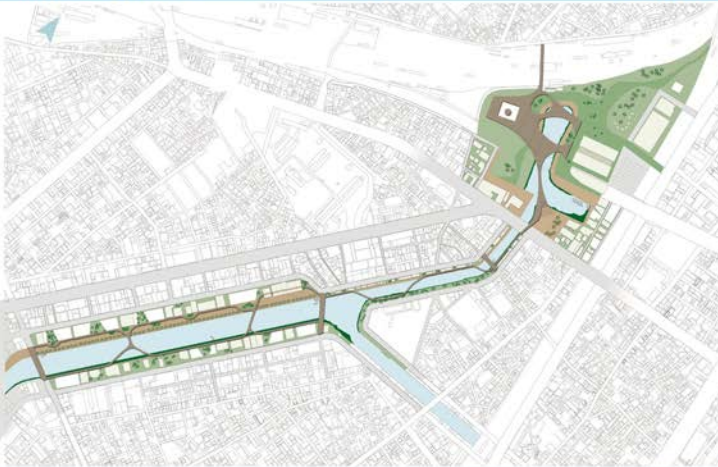
- Takahiro Kayano
- Shogo Makimura
- Chiaki Nakatsuji
- Yuki Sawazaki
- Yoshihiro Terashima
- Choh Thiri
- Li Yan

TEAM D NAKAGAWA WALK 土地の液状化・水害の危険度が高い中川運河沿岸地区



NAKAGAWALK flooding the canal with new life Analysis

NAKAGAWALK flooding the canal with new life Section



NAKAGAWALK flooding the canal with new life Masterplan

Sketches

■概要

中川運河の船溜まりから運河沿い約 1km とその周辺を対象とした。船溜まりに隣接した広大な空地に医療、公衆浴場、エネルギーや食糧の備蓄などの機能を備えた避難ビルを建設し、そこにつながる二重構造のペDESTリアンウェイを運河沿いに掛ける。このペDESTリアンウェイは、普段は市民のための親水空間、災害時は避難路として機能する。運河沿いの既存の工場はギャラリーや商業施設にリノベーションし、その他の建物も一層目をオープンスペースや商業施設にした集合住宅やオフィスに建て替える。この提案により、中川運河は、人々の賑わいと洪水への耐性を兼ね備えた空間に生まれ変わる。

■メンバー

ENSA-PVS

- Marie Finaz
 - Jean Laurenty
 - Romain Rozan
- ### TAU
- Lachish Michal
 - Cohen Reut

GSES-NU

- Emi Funakoshi
- Shuhei Iitsuka
- Chiaki Maeda
- Tomonori Minamisawa
- Akane Mitsuyama
- Hiroshi Sasano
- Yuiko Wakahara

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
交流実績

2009年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2009

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 40 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090413/index.html>>

2009年9月：Japon Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090927/index.html>>

2009年9月：名古屋大学大学院環境学研究科とパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の間で協定及び覚書を締結

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20091130/index.html>>

2010年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12 名、GSES-NU 大学院生 36 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100412/index.html>>

2010年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010-2

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生約 30 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100921/index.html>>

2011年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2011

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、米国カンザス大学大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年4月：国際建築・都市設計ワークショップ 2012

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9 名、テルアビブ大学学生 9 名、GSES-NU 大学院生 27 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

※2011年4月の名古屋でのワークショップは、東日本大震災発生のため中止した。



NAGOYA
UNIVERSITY

PARIS
VAL DE
SEINE
ÉCOLE NATIONALE SUPÉRIEURE
D'ARCHITECTURE